

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	04-01-01-13
事務事業名	山村地域活性化施設管理事業		
事業開始年度	平成5年～		
大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	問合せ先	担当課(室) 吉永総合支所管理課
中項目	豊かな食を支えるまちづくり	職・氏名	主査 久保山仁也
小項目	施策 農業(農業振興地域以外の整備)	電話	(0869)84-2513

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	観光客
目的(何のために)	施設の適切な管理と効率の良い運営
行政活動(どのような方法で)	吉永地域内の山村地域活性化施設の管理運営業務の委託。指定管理者制度を適用。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	施設の適切な管理により観光客の増加が期待できる。

事業の実績				
実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
八塔寺ふるさと館 利用者数	人	9,433	8,971	4,431
八塔寺ふるさと農園 貸し農園利用者数	人	2	2	1
南方つり堀公園 利用者数	人	406	431	446
活動実績				
直接事業費	千円	8,276	6,274	6,461
人件費	千円	1,280	2,460	2,070
事業費計		9,556	8,734	8,531
国県支出金				
受益者負担	千円	2009		
一般財源		7,547	8,734	8,531
必要人員	人	0.15	0.30	0.29
結果指標				
結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
施設利用者数	件	9,841	9,404	4,878
対前年比	%	-	95.6%	51.9%
活動コスト	円	9,556,000	8,734,000	8,531,000
単当たりコスト	円	971	929	1,749
結果指標				
結果指標	説明			
対前年比	%	-		
活動コスト	円			
単当たりコスト	円			

事業の成果			
成果指標名	施設利用者数	式又は説明	各施設の利用者数(人)
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	9,841	9,404	4,878
対前年比		95.56%	51.87%
到達目標値	1割増	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)			
目的	開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	B		
	現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識			
対象	事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	施設の適切な管理により観光客数の増加が期待でき、山村振興の活性化が図れる。			
	事業開始当初の目的から変化している				
行政活動	対象を見直す必要がある				
	事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない				
事業の意図する成果	現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない				
	市民、団体などから要望・要請の強い事業である				
市の関与	本市が関与しなければならない事業である			効率性評価<A-E>	C
	事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい			課題認識	
コスト	コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい			指定管理制度によりコスト縮減ができていますが、さらに業務内容等の見直しが必要である。	
	コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい				
手	サービスを低下させずにコストを低減することは困難				
	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない				
職	最適な手段を求めて職場内で改善を求めている				
	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある				
目的達成度	事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	有効性評価<A-E>	B		
	事業に関するOJT(職場研修)は行われている	課題認識			
成果向上の可能性	事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	例年並みの成果が得られた。しかしながら赤字経営の施設もあり、今後は収益をどのような方法で上げていくかが課題である。			
	成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである				
市民参画度	成果は向上しており今後も向上する見込みである				
	今後、成果指標は向上する余地がある				
有効性の評価	事業について積極的に情報提供している				
	事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している				
事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	事業の縮小を検討する				
	事業の縮小を検討する				

平成20年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	指定管理者制度を適用している。平成21年度からは、一部の施設については公募により指定管理者を募集する。
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量 5,400	結果指標量 5,400

総合評価		評価区分<A-E>	B	
創意工夫による質の高いサービス提供を指定管理者とともに継続して行い誘客に努める。今後、指定管理者には合理化、経費削減等の営業努力により収益を今まで以上に確保する必要がある。				

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	各施設の収益の確保	平成21年度以降	コスト削減